

2018年4月24日7時間目は、4年生「体験グローバル」第1回外部講師による講義として、エフピコ株式会社 藤井宣裕さんを講師としてお招きしご講義いただきました。

藤井宣裕さんからは、環境問題への社会の関心の高まりに応える中で、行政や他社の取り組みに先駆けて、トレーの回収・リサイクルの仕組みを確立したこと、そのサイクルを浸透させるため、食文化との接点を意識した商品開発を行ったことや啓蒙活動を重ねてきたことなどをお話しいただきました。また、会社の一貫した経営ビジョンにより、技術を高めることで同業他社との競争に打ち勝ち、今日の地位を占めるに至ったことや、雇用面での特徴として障がい者雇用率が日本一であることを紹介して下さる中で、生徒は自らの生き方や、これからの企業が社会で果たすべき役割についても考えられたようです。

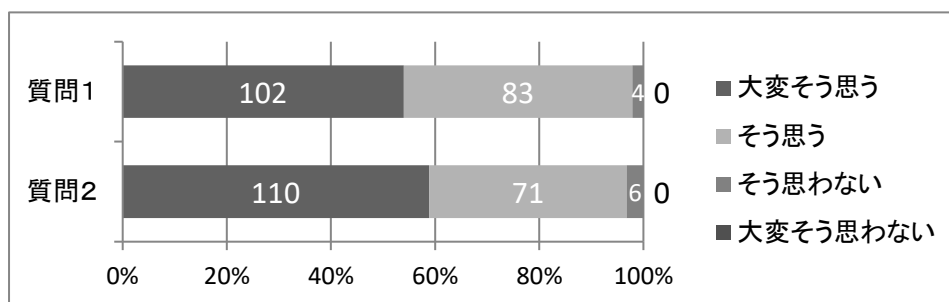


講演後の生徒のアンケートをまとめると以下のようになりました。

質問項目

1. 今日の講演は興味・関心をもって聞くことができましたか。
2. 今日の講演は新しい考え方や視点が学べるものでしたか。

集計結果
*総数198



自由記述 今回の講演から学んだこと、考えたことを具体的に記述してください。

- ねばり強く事業を行うことが大切だけどだめだと思ったらやめたり、いけると思ったらとことんやったりするなど臨機応変に対応することがとても大切と分かりました。また、社会の動きに合わせて会社の方針を変えるなど世間の声、消費者の声を聞くことがこれから必要になると分かりました。
- 白い四角いトレーだけでなくいろんな形状の様々な色のトレーが作られているのだと知りました。リサイクルして、トレーを回収してまたトレーを売ると聞くとなんだか損をしそうなイメージがありますが、しっかり利益も上げていてコストも CO2 も削減していると聞いて本当にすごいと思いました。「CO2 を〇〇年までに〇%削減」などという目標はあまり身近に感じられませんでした。エフピコのように地道にねばり強く社会貢献される企業が増え、個人の環境への意識が高まることで本当に実現可能となり大きな成果をあげることができるのではないかと感じました。
- アメリカのマクドナルドのニュースを見てすぐにリサイクルシステムをつくろうという決心ができるのはすごいと思った。「いろいろなことがあってもねばり強くあきらめずにがんばる」ことが大切だということを知り、自分もねばり強くやるべきことに取り組むべきだと思った。障がい者も31年前から採用しているのはすごいしやさしいなと思った。
- 持続可能な社会を作るためにはトレーを集めるなど自分が少し心掛けることで変わるとわかった。福

山市の会社でこんなに環境のことを考えている会社があることにおどろいた。障がい者も積極的に雇用していて環境も社会のことも考えている企業が今後より増加してほしいと思った。自分はペットボトルなどのプラスチック容器を家庭ごみに捨てていたので少しでも多くスーパーにもっていき持続可能な社会の実現を目指していきたいと思った。

- 「エフピコ」という会社はここら辺の地方だけで有名なのかと今まで思っていたが、プラスチック製の容器の業界シェアが4割だと聞いてとても驚きました。福山の会社がここまでくるなんて、どれほど大変だったのだろうかと思いました。また、お話をしてくださった方がとても楽しそうに自分の会社をほこりに思っていたようだったので、将来はそんな会社に就職できたらいいなと思いました。今まで何気なく使っていた食品トレーですが、これからは新しい視点で使えそうだと思います。



- エフピコの方のお話を聞いて、エフピコという会社は、自分の会社のためだけで考えることをせず、広く世界を見渡した上で、活動をしてきたことが分かりました。持続可能な社会が世界中で目標にして進められる中で、早くから取り組んだことで、今のエフピコ方式のようなエコな会社を実現できているのだと思いました。今回の講演で、さまざまな視点・方法から社会に貢献できることが分かりました。
- 私の家庭でも、リサイクルをするためにスーパーマーケットによく行っています。しかし、リサイクルをするためにエフピコさんがここまで多くの努力をされているのだと、この短い時間だけでもよく分かりました。またエフピコさんは、リサイクル以外の面でも障害者の方の雇用など多方面で活動されており、しかもエフピコさんは私たちの身近な地域「福山」にあることは、福山にとっての誇りだと私は思いました。
- 今までは全然知らなかったけれど、リサイクルに対する努力が本当にたくさんされていて、地球を救うような活動もできていると分かり、感動しました。今までは何気なく見ていたスーパーの前にあった回収ボックスも、地球を守るのに役立っていると詳しく知ることができたので、積極的に回収に協力していきたいなと思いました。福山の一工場にこんなに私たちの生活のためにがんばっているところがあると知れてよかったなと思いました。
- 今回の講演の中で、「決断が早かった」という言葉が印象に残りました。私自身、今までにいろんなことに長く悩んで決められなかったことで損をする、ということも多くありました。なので、今回お話を聞いて、損をしてもしなくても、早く決めて行動するというのは良いことだと思いました。改めて、自分のことに活かしていきたいです。
- どこまでも無駄が無い会社だなと感じました。自社生産したものを回収し、リサイクルする。さらに、質問の答えでわかったことだが、誤って回収されたリサイクルに不向きなトレーでさえ、他の会社の燃料として使う。あるものすべてを利用した、合理的な会社であるとともに、環境にも家庭にも貢献していて、素晴らしいと感じました。
- 私が思っていたよりもトレーが省エネで作れること、リサイクルがとても効果が高いことなどが知れて、日常生活の中で何気なく使うトレーについて、改めて考えることができた。この取り組み、努力を私たちが次の時代へとつなげ、より環境に良い事業が行われる社会にしていけないといけないと思った。